

# 市松模様の家（新築） 外壁に木を使った都心の家

## 【掲載誌・受賞歴】

国内誌：日経アーキテクチャ住宅特集 2015/9/25号 / 住まいの設計 2015.11.12月号

：My HOME+vol.42(2015年10月21日発売)

海外誌：HOUSE DESIGN 5(韓国) / NISHA 2015 AUGUST(イスラエル)

## 【背景】

築35年となり老朽化した住宅を建て替え、これを機に2世帯で同居する事になりました。施主は30代のご夫婦・ご主人のお父様の3人ですが、今後家族が増える事も想定しています。敷地は東京の山手線の内側の下町ですが、用途地域が近隣商業地区となっている事から閑静な住宅街が徐々に中高層の建物に置き換わっている状況です。

## 【施主要望】

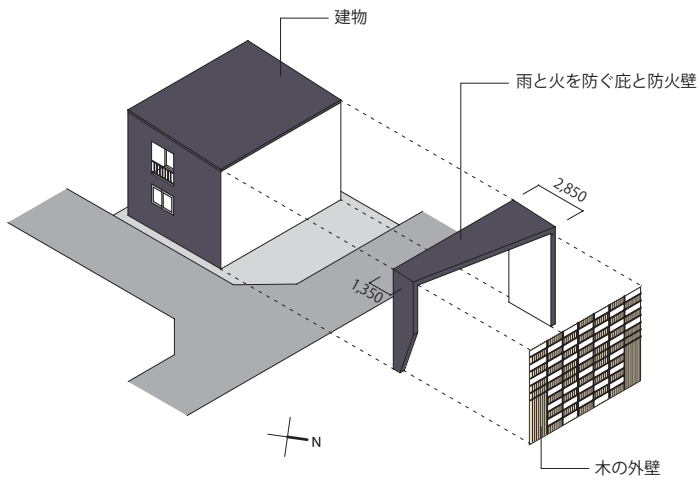
- ・2世帯住宅だが生活ゾーンは程よく距離をとりたい。設備はそれぞれの世帯に設置。
- ・別々の玄関を設置。でも内部で繋がるようにしたい。
- ・古着、スニーカー、登山道具、釣り道具などお気に入りの物を飾りたい。
- ・新築をキッカケに自転車の趣味を始めたい。
- ・屋根のある駐車場が欲しい。
- ・キッチンはオープンにしたい。料理をしながらテレビが見たい。
- ・将来想定の子供部屋を設置。
- ・釘を自由に打てる場所が欲しい。(施主の父は日曜大工の心得があり、棚等を簡単に作れるので)
- ・木のぬくもりに憧れている。(でもメンテナンスや費用は心配)



## 【コンセプト】

都市部の住宅で外部に木材を使う事は難しくなっています。木造住宅は多くありますが、防火やメンテナンスの観点から多くの費用をかける必要があります。木材の持つ柔らかさや風合い、さらには自分で釘を打つ事ができるなど、日本の伝統的な家が有していた木材の良さを見直しつつ、防火・メンテナンスに配慮した「木を使った都心の家」が出来ないかと考えて設計をしました。この家では、北側の道路に面した駐車場に1.35mから2.85mの屋根を跳ね出し、日本の伝統的な軒下空間を作っています。この雨のかからない軒下空間と両壁面の防火壁により、住宅の密集している地域でも安価に木材や木枠の窓を設置する事が可能になりました。開口率50%の市松模様の窓は「通常高さ・天井際・床付近」から光を分散して取り入れる事ができ、日中を通じて安定的な北側からの光をさらに分散して取り入れる事ができます。内側は奥行きのある棚となっており、施主がお持ちの様々な小物をディスプレイして楽しみつつ、緩やかな目隠しとして周辺からのプライバシーを確保しています。

【特徴的な木の外壁・外壁を雨や火災から守る庇と防火壁】



【伝統的な軒下空間】



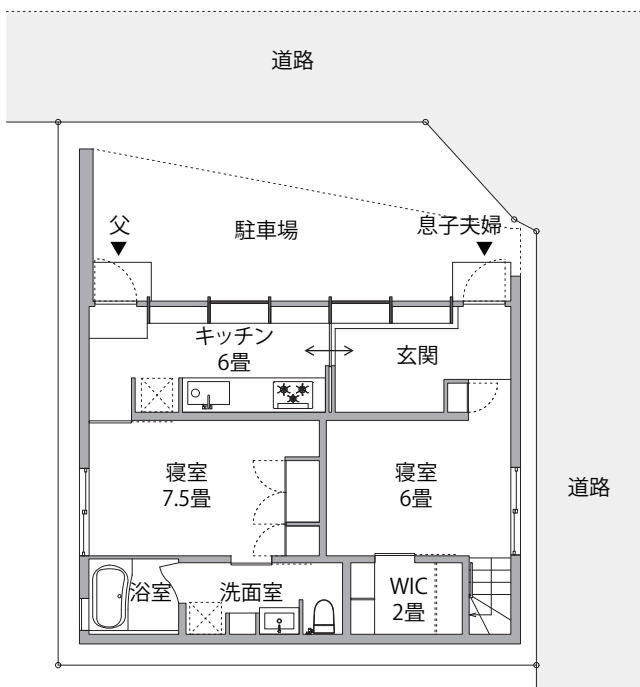
木材を外部で利用すると3～5年での初期の塗り重ねや10～15年毎の塗り直しなど定期的なメンテナンスが必要となります。木材の劣化は主に風雨によるダメージと太陽光に含まれる紫外線が原因です。市松模様の家は大きな庇空間を作る事で日常的な雨を当てない配慮をしています。また敷地状況から駐車場が北側となった事から、北面に木の外壁を設置し紫外線による劣化も最大限考慮しています。建築的な配慮をする事でメンテナンスを軽減し、木の持つ温もりを楽しめるようにしています。



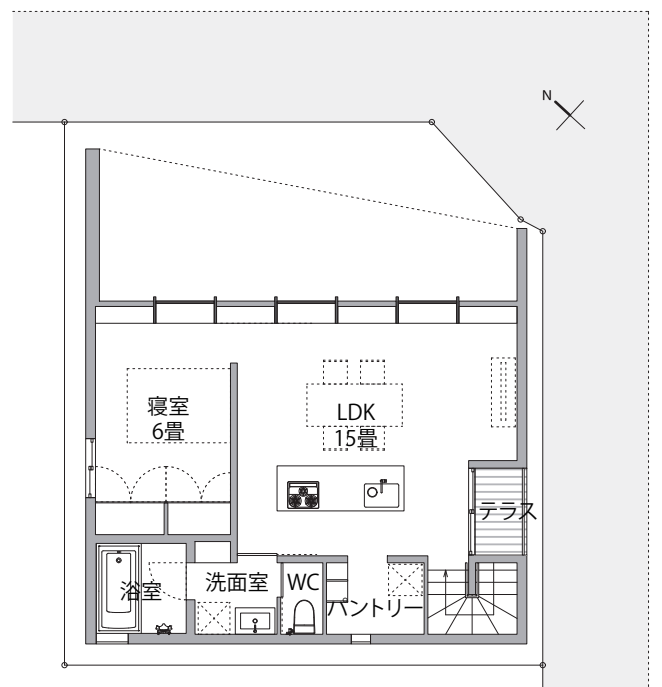
プレゼンテーションで利用した模型の外観写真 特徴的な市松模様の格子デザイン



プレゼンテーションで利用した模型の内観写真 2階のリビングダイニングキッチンから奥の寝室を見る。



1階平面図



2階平面図

0 1 2 4(M)

計画地：東京都 / 主要用途：一戸建ての住宅 / 工事種別：新築 / 延べ床面積：117.9 m<sup>2</sup> / 1階床面積：68.33 m<sup>2</sup> / 2階床面積 49.56 m<sup>2</sup>  
 総工費：2,752万円(税込) / 坪単価：77万円(税込)



窓でありディスプレイの棚である市松模様の壁面。様々な趣味の物を飾りつつ北側からの視線を防ぐ。50%が窓であるが棚に奥行きがあるので、外部からの視線はほとんど気にならない。



2階リビングダイニングキッチンから主寝室方向を見る。床はチークフローリング。壁面は僅かに黄色を加えた水性塗料。キッチンは家具屋にて特注製作。



1階キッチンから玄関を見る。コンロ奥の壁面に引戸が収納されており、2世帯を分離することができます。



2階洗面室・トイレは必要最小限の広さとしています。床は磁器質タイル。左に可動棚を設置しています。



道路から建物外観を見る。外壁は国産の杉材を市松模様に貼付け、ペアガラスを設置。断熱に配慮しています。玄関ドアも外壁に合わせて杉材を利用しています。



道路から見た建物の夜景写真。市松模様のガラス面から洩れる光によって建物全体が照明器具のような印象となっています。ガラス部分は5カ所が開閉可能です。